



岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

令和2年1月18日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ ヒラジマケンコウフクシイインカイ
団体名 平島健康福祉委員会、
所在地 [Redacted]
連絡先 [Redacted]
フリガナ カサキヨシテ
代表者 会長 柿崎由秀、

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	平島・元気で輝き事業
事業実施小学校区・地区	平島小学校区
事業実施回数	新規 ・ 継続 5 回目 / 【 28 年度から】
課題	<ul style="list-style-type: none">・ 地域で支え合う仕組み作りの構築・ 将来的な活動エリアの方向性として近隣の中学校区との連携も必要・ 担い手の若返りと育成・ 自己資金調達の困難さ→仮払金20万円以上の条件の撤廃を強く要望します

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・平島学区に住む高齢者などの健康と福祉に寄与すること。 ・多世代が交流することで将来に向け地域全体で支え合うまちづくりを醸成していくこと。 <p>平島学区において今後更に進むことが予想される少子高齢社会を迎え、高齢者が元気で自立した生活を送ることができ、そのために老若男女が自助・互助の考え方を理念に地域で支え合う仕組み作りを構築していく必要がある。これまで平島小地域ケア会議において熟議を重ねてきた結果、高齢者に関する課題解決の一つの方法として平成28年度より本事業を導入したものである。令和元年度には更に高齢者のフレイル予防対策強化と多世代がふれあう場として“ふれあいサタデイ”を試験的に行った。結果として本事業の更なる充実化に向けてステップアップすることができそうである。今後は今まで実施してきた事業と併せて“ふれあいサタデイ”も実施していく予定である。</p>
事業の内容	<p>① <u>ちょっとした困りごとをお手伝いする“生活支援サービス”の実施</u> 既成の制度ではまかなえないようなちょっとした生活援助を有償ボランティア方式（300円チケット券1枚で約30分間）によりサービスを提供するシステム。</p> <p>② <u>歩いて行ける所に寄り合いの場“井戸端カフェ”2か所の運営</u> ・井戸端カフェ東平島は第2土曜日、井戸端カフェ南古都は第4土曜日、いずれも10時～12時開催。誰でも気軽に立ち寄ることができ雑談やゲームなどを通して元気を取り戻す。</p> <p>③ <u>“HKF研修会”及び“ふれあいサタデイ”の開催</u> HKF研修会は健康についての学びの場であると同時に医療や介護の制度についても理解を深める場でもある。心身の機能向上のための脳トレやストレッチ体操などを行いながら年4回開催。更に今年度の新企画として、フレイル予防のための“ふれあいサタデイ・元気で輝き体操”を毎週土曜日10時～11時開催、及び“三世代交流ふれあいサタデイ”を年2回開催予定である。</p> <p>④ <u>“HKFニュース”の発行</u> 地域イベントや耳より情報などを掲載したニュースを年4回全戸に配布。</p> <p>⑤ <u>平島小地域ケア会議の企画運営</u> 学区内の高齢者の課題について話し合う場である。地域の関係団体の主要メンバー約30名で構成され平成22年から3か月毎に開催しておりこの4月で48回目となる。</p>
期待される成果・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の推進により“支え合いのまちづくり”を実現すること。結果として住民の皆さんに安心して住める地域だと実感していただき住み続けてもらうこと。また、多世代のふれあいによりコミュニティの輪が拡大すること。 ・高齢者が介護予防によって健康寿命を延ばすことができ、一人でも多くの方が元気で輝きながら、地域とつながり社会参加や活動が出来ること。 ・本事業の推進により「自助・互助の理念」が地域に浸透し、地域住民のつながりがさらに深まるよう、その環境づくりのための諸活動を継続して行うことが最も重要なことと考えている。
企画などの工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・HKF研修会の開催については、一昨年度より平島コミュニティだけの開催ではなく単一町内会の公会堂へも出前研修を実施。好評のため今年度も継続開催の予定。また、高齢者のフレイル予防対策強化と多世代がふれあう場づくりで“ふれあいサタデイ”を昨年度試験的に行って見たが結果が好評価だったため追加事業とすることとなった。 ・平島小地域ケア会議ではこの4月より民生委員が大幅に変わるため、本会議の目的や役割を再確認して頂き情報と知識の共有化を図ること。更なる資質向上のために“事例を通して課題解決のための具体的対応方法を学ぶ”ことは引き続き行っていく。 ・平島学区安全安心ネットワークと密に連携をとりながら更に幅広く地域の情報を入手しHKFニュース内容の充実を図る。 ・近隣の中学校区のボランティア活動団体とも連携を図り交流を密にできるよう新しい企画にチャレンジをしてみる。

協働する団体等	<ul style="list-style-type: none"> ・平島安全安心ネットワークに所属する各団体（24 団体）とは密に連携をとりながらこれまで通り協働で活動を続けて行く。 ・上道中学校区内だけではなく瀬戸中学校区のボランティア活動団体（助け合うお母さんの会）とも協働の予定である。
事業の情報公開	<ul style="list-style-type: none"> ・平島学区においては HKF ニュースの全戸配布。 ・つながる広場や市民の広場への投稿。 ・各町内会、地域センターや公民館、その他地域の金融機関や商業店舗へのポスター掲示。 ・今後、平島型地域包括ケアシステムを構築することができれば、インターネット上でホームページを開設し情報を公開していきたい。
学区地区への広がり	<p><u>平島小学校区から上道中学校区、更に瀬戸中学校区への活動の広がりのために</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・上道公民館が主催する“地域応援人づくり講座”に3年前より協働して支援活動を行って来ているがその効果が徐々に出て来ていると思われる。3か所の小学校区では生活支援サービスの導入が具体的に進んできておりその活躍が期待されている。 ・若い世代にも本事業を知ってもらうため上道中学校の生徒の皆さんにボランティア活動参加要請の働きかけを行っており徐々に応えてくれている。 ・瀬戸中学校区へは“三世代交流ふれあいサタデイ”の企画を通じて交流を開始している所である。
前年度からの見直し拡充点	<ul style="list-style-type: none"> ・一昨年度の西日本豪雨災害の影響はまだかなり残っている状況の中、生活支援サービスの件数が若干減少傾向であることを除けばその他の事業は概ね順調に計画通り進んでいると思われるためこのまま今まで通り継続実施とする。 昨年度は新しい企画“ふれあいサタデイ”を試験的に実施してみたが想像以上の成果を得ることができたため本年度は本格的に導入することとした。前述の項目「企画内容」と「企画などの工夫」に記載している。 ・視察研修が丸1日かかる企画では参加者の負担も大きいため半日程度の近場での研修を2回に分けて行うこととした。
次年度以降の予定	<p>① 次年度以後の活動計画 これまで進めている5事業はそのまま継続しながら新企画の“ふれあいサタデイ”を成功させ今後への継続性を図りたい。</p> <p>②資金の確保について <input type="checkbox"/>次年度も区づくり推進事業を申請する予定 <input type="checkbox"/>（2）年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたいと考えているが現状からなかなか難しい状況である。 資金確保の具体的な方策：生活支援チケット券販売や参加費の徴収、野菜の寄付による募金、地域の団体や企業協賛金など。</p>

その他PRしたい点	<p>特にありませんが提案です。</p> <p>“おかやま協働のまちづくり賞”について過去にエントリーした団体のその後の活動状況について知りたいのです。フェイスブック“つながる広場”からの情報程度ですが、他にもトピックスなど情報提供がありましたら嬉しいですね。どんな小さな活動でもキラリと光る活動紹介をよろしく願いいたします。</p>
-----------	---

★ “ふれあいサタデー・元気で輝き体操 “は毎週土曜日 10 時～11 時にコミュニティハウスで開催

月日	場所	内容/担当チーム
4/1～4/30	平島学区	生活支援サービス(B 班)
4 月 11 日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(A 班)
4 月 24 日	平島コミュニティ	第 49 回小地域ケア会議
4 月 25 日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(B 班)/総会
5/1～5/31	平島学区	生活支援サービス(A 班)
5 月 11 日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(B 班)
5 月 16 日	平島小学校	安全安心ネットワーク祭・救護
5 月 23 日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(A 班)
6/1～6/30	平島学区	生活支援サービス(B 班)
6 月 6 日	平島コミュニティ	第 28 回平島健康福祉研修会/第 3 回ふれあいサッタデー
6 月 13 日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(A 班)
6 月 27 日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(B 班)/定例会
7/1～7/31	平島学区	生活支援サービス(A 班)
7 月 11 日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(B 班)
7 月 24 日	平島コミュニティ	第 50 回小地域ケア会議
7 月 25 日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(A 班)
8/1～8/31	平島学区	生活支援サービス(B 班)
8 月 8 日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(A 班)
8 月 22 日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(B 班)
8 月 22 日	平島小学校	平島振興まつり・模擬店出店・救護
9/1～9/30	平島学区	生活支援サービス(A 班)
9 月 5 日	西部公会堂	第 29 回平島健康福祉研修会
9 月 12 日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(B 班)
9 月 13 日	平島小学校	敬老会・救護
9 月 26 日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(A 班)
10/1～10/31	平島学区	生活支援サービス(B 班)
10 月 10 日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(A 班)
10 月 23 日	平島コミュニティ	第 51 回小地域ケア会議
10 月 24 日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(B 班)/定例会
11/1～11/30	平島学区	生活支援サービス(A 班)
11 月 14 日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(B 班)
11 月 22 日	富山学区	視察研修(意見交換会)
11 月 28 日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(A 班)
12/1～12/31	平島学区	生活支援サービス(B 班)
12 月 5 日	平島コミュニティ	第 30 回平島健康福祉研修会/第 4 回ふれあいサッタデー
12 月 12 日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(A 班)
12 月 26 日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(B 班)/定例会
1/1～1/31	平島学区	生活支援サービス(A 班)
1 月 9 日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(B 班)
1 月 22 日	平島コミュニティ	第 52 回小地域ケア会議
1 月 23 日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(A 班)
2/1～2/29	平島学区	生活支援サービス(B 班)
2 月 6 日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(A 班)
2 月 20 日	木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都(B 班)/定例会
3/1～3/31	平島学区	生活支援サービス(A 班)
3 月 6 日	平島コミュニティ	第 31 回平島健康福祉研修会/井戸端カフェ東平島
3 月 13 日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(B 班)
3 月 20 日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(A 班)

収 支 予 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内 容
岡山市補助金	147,500	145,000	(100円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	42,500	26,000	会費
参加者負担金	30,000	54,000	サービスチケット代等
協賛金	50,000	50,000	
寄付、他収入	25,000	15,000	平島健康福祉ニュース
計	295,000	290,000	

◆ 支 出

単位:円

費 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	20,000	10,000	掃除・草刈道具、ごみ袋、コピー用紙
②食糧費	40,000	10,000	会議用飲物
③印刷製本費	30,000	35,000	HKFニュース、ポスター、研修会資料
④燃料費	0	10,000	生活支援サービス提供時の支援員のガソリン代
⑥通信運搬費	60,000	60,000	携帯電話利用料金、HKFニュース及び案内の郵送料
⑨使用料・賃借料	30,000	45,000	平島コミュニティ(70回)、井戸端カフェ2か所(24回)
⑩原材料費	0	50,000	ふれあいサタデイ食糧(2回)
⑬報償費	15,000	20,000	研修会講師謝礼
⑭保険料	20,000	20,000	支援員ボランティア保険
⑮旅費	80,000	0	交通費
⑯その他	0	30,000	研修参加費
計	295,000	290,000	

◆ 概算交付の要否 (いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	<input checked="" type="radio"/> 希望する <input type="radio"/> 希望しない
-----------	---

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

会としての手持ち金に余裕が無いこと

注①：前年度決算額が確定してない場合は、見込み額を記入してください。

注②：支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・光熱水費・通信運搬費・広告料・手数料・使用料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

※様式に入力される場合は、収入・支出欄は、エクセルのワークシートになっています。欄の上でダブルクリックして、ワークシートを表示させてから入力してください。

※記入欄に書ききれないときは、別紙として添付してください。